

令和 6 年（2024 年）3 月

令和 4 年度 専門学校生生活調査結果

まえがき

日本学生支援機構（JASSO）では、全国の専門学校生（専修学校（専門課程））の学生生活状況を把握することにより、専門学校生にかかる学生生活支援事業の充実を図るための基礎資料を得ることを目的として、「専門学校生生活調査」を平成 30 年度に試行実施し、令和 2 年度から隔年で本格実施しています。

このたび、令和 4 年度の調査結果を取りまとめましたので、前回調査（令和 2 年度）との比較を行いながら、調査結果の概要を紹介します。

令和 4 年度調査は、前回と同様に、専門学校生を調査対象とし、全国 607,029 人の中から、設置者（公私）ごとに抽出率を定めてサンプル数を算出し、これを各学校に割り当てて調査を依頼しました。調査対象となった 17,950 人のうち、有効回答は 6,981 人、回収率は 38.9%となりました。本文で紹介する資料に掲げる数値は、この標本調査の結果を基礎として、全国の調査対象学生総数についての数値を推定した結果となっています。

なお、本調査は、前回まで、紙の調査票を学生に配付し、これに回答を記入、提出させる方法で実施していましたが、本調査にご協力いただく学生及び関係教職員の利便性向上等を目的として、令和 4 年度からオンラインによる調査に変更しました。調査の実施方法等については、今後も、必要な見直しを行ってまいりますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

専門学校生の生活に伴う問題は広範かつ複雑であり、この調査で取り上げたことに尽きるものではありませんが、この調査結果が専門学校生の生活に関心を寄せられる方々の参考になれば幸いです。

末筆ながら、本調査に回答いただいた学生の皆様、本調査の実施に際して多大なご協力をいただいた全国の専門学校関係者の皆様をはじめ、ご助言ご協力をいただきました関係者の方々に深く感謝申し上げます。

令和 6 年 3 月

独立行政法人 日本学生支援機構

目 次

まえがき

I. 調査実施方法等について	1
II. 調査結果の概要	2
1. 学生生活費（学費と生活費の合計）	3
2. 設置者別の学生生活費	4
3. 居住形態別の学生生活費	4
4. 学生の収入状況	5
5. 家庭の年間平均収入額	6
6. アルバイト従事状況	7
7. 奨学金の受給状況	7
8. 週間平均生活時間	8
III. 集計表	
1表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳	11
2表 居住形態別・地域別学生生活費の内訳	12
3表 家庭の年間収入別学生数の割合	13
4表 家庭からの給付程度別・アルバイト従事者の全学生に対する割合	14
5表 アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合	15
6表 設置者別・家庭の年間収入別奨学金の希望及び受給の状況	16
7表 設置者別・奨学金の種類別学生数の割合	17
8表 設置者別・週間平均生活時間	18
IV. 参考資料	
令和4年度専門学校生生活調査 調査票	21
令和4年度専門学校生生活調査 回答要領	26
令和4年度専門学校生生活調査 【学生用調査案内】 専門学校サンプル	28
令和4年度学生生活調査・高等専門学校生生活調査・専門学校生生活調査 実施の手引	33

I. 調査実施方法等について

1. 調査の目的 この調査は、全国の専門学校生（専修学校（専門課程）の学生）を対象として、専門学校生の生活状況を把握することにより、専門学校生にかかる生活支援事業の充実のための基礎資料を得ることを目的とする。
2. 調査の対象 専門学校（専修学校（専門課程））の学生
(社会人を含む。通信課程、休学者及び外国人留学生は除く。)
3. 調査の時期 令和4年（2022年）11月（隔年調査）
4. 調査数 全国の専門学校生（専修学校生（専門課程））607,029人（文部科学省の令和3年度「学校基本調査」調査票情報を利用）から、下記の抽出率によって算出した、17,950人を対象に調査を実施した。

設置者別 区分	国 立	公 立	私 立
専門学校	—	$\frac{5}{24}$	$\frac{1}{44}$

※上記の数値は、在籍学生数に対する調査数の割合を示したものである（調査数/在籍学生数）。

5. 調査方法 令和2年度調査までの紙面調査から変更し、令和4年度よりオンライン調査とした。日本学生支援機構が、学校別の調査数と共に所定の調査票での調査実施を各学校に依頼し、各学校が、依頼された調査数で無作為抽出した学生に調査案内を配付、学生が、オンライン調査システムから回答する方法により、調査を行った。

〔補足事項〕

- ・層化多段抽出を行っているため、各学校における在籍学生数と調査数は完全には比例せず、在籍学生数の少ない一部の学校は、一定の確率で調査対象から外れている。また、在籍学生数100人未満の学校も、調査対象から外れている。
- ・国立については、一校を除き、いずれの学校においても在籍学生数が100人未満であり（国立全体でも全国の学生数のうち約0.05%）、サンプルサイズ確保の観点などより調査対象から外れている。このため、本調査結果においては、公立及び私立の結果を示している。
- ・日本学生支援機構奨学金貸与対象校から層化多段抽出を行い、各学校へ調査を依頼した。

Ⅱ. 調査結果の概要

令和4年度専門学校生生活調査における調査結果として、学生生活費、学生の収入状況、家庭の年間平均収入額、アルバイト従事状況、奨学金の受給状況、週間平均生活時間の項目について取りまとめた。

<令和4年度調査回収率>

回収率 : 38.9% (有効回答数 6,981 人 / 調査数 17,950 人)

<令和4年度調査結果の一例>

学生生活費

令和2年度	令和4年度
1,682,800 円	→ 1,691,100 円 (8,300 円増 (0.5%))

収 入 額

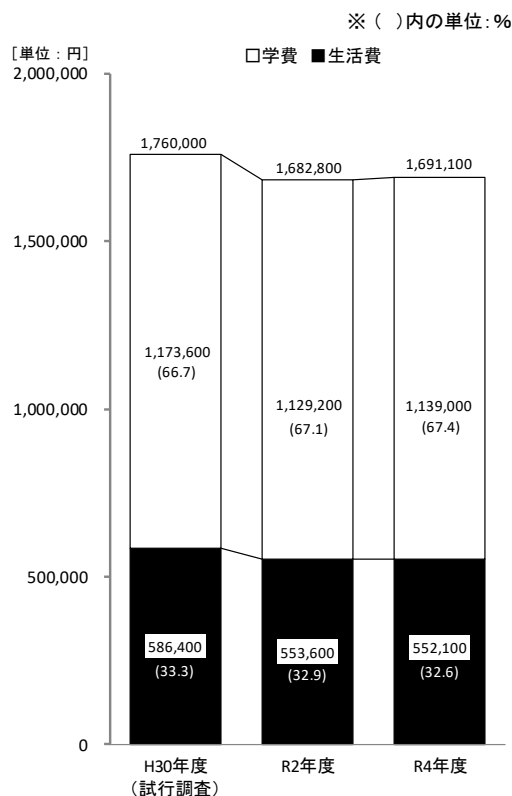
令和2年度	令和4年度
1,753,200 円	→ 1,810,300 円 (57,100 円増 (3.3%))

〔調査結果における留意事項〕

1. 本調査における学生生活費は学費と生活費を合わせたものである。
学 費： 授業料、その他の学校納付金、修学費、課外活動費、通学費の合計
生 活費： 食費、住居・光熱費、保健衛生費、娯楽・嗜好費、その他の日常費(通信費を含む)の合計
2. 本調査結果の集計表6表で示す奨学金受給者の割合には、日本学生支援機構の奨学金(給付・貸与)とそれ以外の奨学金(給付・貸与)の両方を含む。
3. 本調査結果の集計各表は端数処理(四捨五入)後の数値を使用しており、内訳の合計値と合計欄の値が一致しないことがある。
4. 質問の一部に回答がないデータは、一部の集計表では集計対象としていない。
5. 各集計表の脚注に、有効回答数(n)を参考値として表示している。なお、設問によって有効回答数が異なることから、各集計表におけるnは必ずしも一致しない。
6. 集計各表の数値は、この標本調査の有効回答を基礎として、調査対象学生総数についての推計値を算出した結果である。
7. 表中の記号は次のように使う。
「-」 : 計数が無い場合
「0.0」 : 計数が単位未満の場合
「…」 : 計数の出現が有り得ない場合または調査対象とならなかった場合

1. 学生生活費(学費と生活費の合計)

学生生活費の内訳を見ると、令和2年度調査（以下「前回調査」という。）と比較して、学費は9,800円の増（0.9%）、生活費は1,500円の減（▲0.3%）と、学費は増加し、生活費は減少している。学費の増加の主な要因は「通学費」の増加であり、前回調査と比較して8,800円増加（11.2%）している。また、「課外活動費」は前回調査と比較して、金額では1,000円の増加であるものの、割合では大幅に増加（24.4%）している。生活費の減少の主な要因は「食費」の減少であり、前回調査と比較して8,500円減少（▲6.8%）している。学生生活費全体に占める学費と生活費の割合は、前回調査では学費が67.1%、生活費が32.9%であったものが、今回調査では学費が67.4%、生活費が32.6%となっており、学費の占める割合が高くなっている。



学生生活費の内訳及び増減額

区分	平成30年度 (試行調査)	令和2年度	令和4年度	平成30年度→令和2年度		令和2年度→令和4年度	
	円	円	円	円	%	円	%
授業料	789,600	764,300	771,600	▲ 25,300	(▲ 3.2)	7,300	(1.0)
その他の学校納付金	192,900	185,900	183,100	▲ 7,000	(▲ 3.6)	▲ 2,800	(▲ 1.5)
修学費	100,700	96,000	91,500	▲ 4,700	(▲ 4.7)	▲ 4,500	(▲ 4.7)
課外活動費	8,300	4,100	5,100	▲ 4,200	(▲ 50.6)	1,000	(24.4)
通学費	82,100	78,900	87,700	▲ 3,200	(▲ 3.9)	8,800	(11.2)
小計(学費)	1,173,600	1,129,200	1,139,000	▲ 44,400	(▲ 3.8)	9,800	(0.9)
食費	134,100	124,600	116,100	▲ 9,500	(▲ 7.1)	▲ 8,500	(▲ 6.8)
住居・光熱費	121,400	120,300	116,300	▲ 1,100	(▲ 0.9)	▲ 4,000	(▲ 3.3)
保健衛生費	40,700	42,600	53,200	1,900	(4.7)	10,600	(24.9)
娯楽・嗜好費	125,900	106,800	106,300	▲ 19,100	(▲ 15.2)	▲ 500	(▲ 0.5)
その他の日常費	164,300	159,300	160,200	▲ 5,000	(▲ 3.0)	900	(0.6)
小計(生活費)	586,400	553,600	552,100	▲ 32,800	(▲ 5.6)	▲ 1,500	(▲ 0.3)
計	1,760,000	1,682,800	1,691,100	▲ 77,200	(▲ 4.4)	8,300	(0.5)

※（ ）内の数値は、直前の調査の金額を基準とした増減率である。

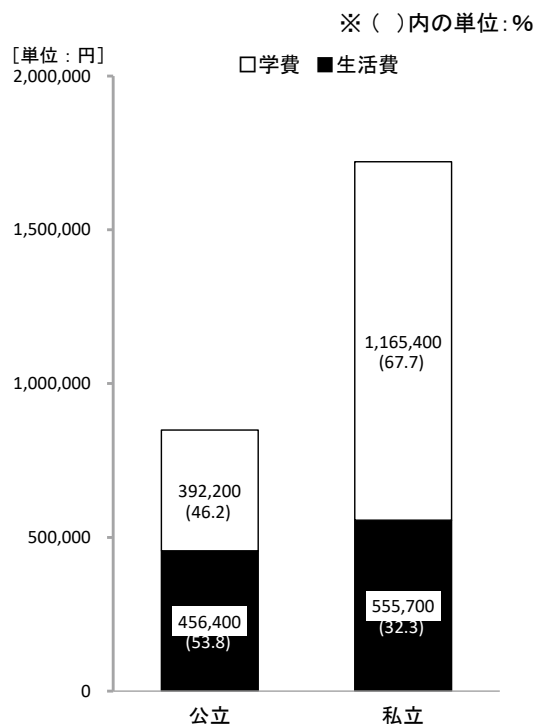
2. 設置者別の学生生活費

学生生活費を設置者別に比較した場合、公立は私立と比較すると 87 万円少なくなっており、内訳を見ると学費の差が 77 万円、生活費の差が 10 万円となっている。学費の差の内訳は「授業料」が 61 万円、「その他の学校納付金」が 14 万円であり、これらが公立と私立の差の大部分を占めている。

学生生活費の設置者別内訳

[単位:円]

区分	公立	私立
授業料	179,000	792,500
その他の学校納付金	45,300	187,900
修学費	94,800	91,400
課外活動費	3,200	5,200
通学費	69,900	88,400
小計(学費)	392,200	1,165,400
食費	107,500	116,500
住居・光熱費	69,800	118,000
保健衛生費	48,600	53,400
娯楽・嗜好費	91,500	106,900
その他の日常費	139,000	160,900
小計(生活費)	456,400	555,700
計	848,600	1,721,100

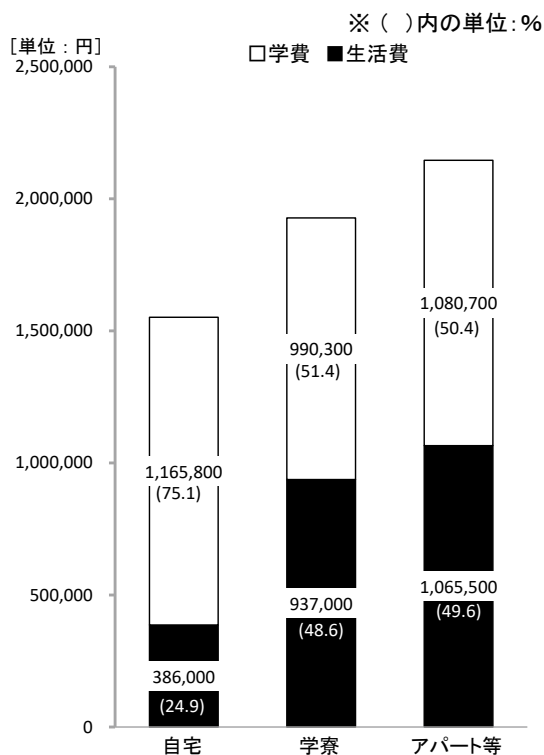


3. 居住形態別の学生生活費

学生生活費を居住形態別に比較すると、下宿・アパート・その他（以下「アパート等」という。）が最も高く、次いで学生寮（寄宿舎）（以下「学寮」という。）、自宅の順となっている。

学費・生活費別に比較すると、学費は自宅が 117 万円が最も高く、学寮が 99 万円が最も低くなっている。この差は、主に「通学費」の 9 万円の差により生じている。生活費はアパート等が 107 万円、学寮が 94 万円、自宅が 39 万円であり、自宅と自宅以外との差が大きく開いている。この差の大部分は、「住居・光熱費」と「食費」によるものである。

居住形態別の学生生活費を更に設置者別で比較すると、公立の自宅を基準とした場合、私立の学生生活費は自宅、学寮、アパート等の全てが公立の 2 倍を超えており、特にアパート等は 2.87 倍となっている。



学生生活費の居住形態別内訳

[単位:円]

区分	自宅	学寮	アパート等
授業料	775,400	684,100	782,000
その他の学校納付金	185,100	179,700	176,500
修学費	92,400	96,100	86,500
課外活動費	5,200	9,000	3,800
通学費	107,700	21,400	31,900
小計(学費)	1,165,800	990,300	1,080,700
食費	75,600	235,500	234,000
住居・光熱費	...	378,400	477,400
保健衛生費	52,200	43,800	59,900
娯楽・嗜好費	106,300	104,100	107,300
その他の日常費	151,900	175,200	186,900
小計(生活費)	386,000	937,000	1,065,500
計	1,551,800	1,927,300	2,146,200

居住形態別・設置者別の学生生活費

[単位:円]

区分	自宅	学寮	アパート等
公立	757,500 (1.00)	944,000 (1.25)	1,202,400 (1.59)
私立	1,579,100 (2.08)	2,006,500 (2.65)	2,171,600 (2.87)
平均	1,551,800	1,927,300	2,146,200

※()は、公立の自宅を基準(1.00)とした場合の比率である。

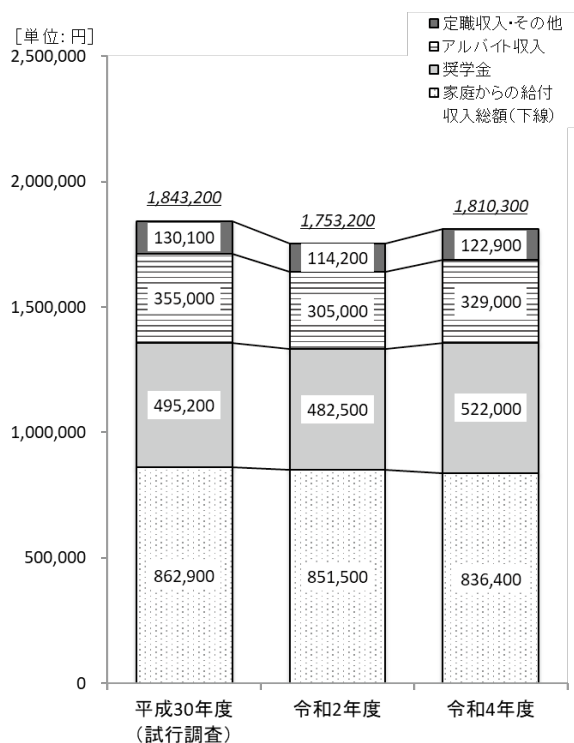
(参考)居住形態別学生数の割合

[単位:%]

区分	自宅	学寮	アパート等	計
公立	72.3	12.4	15.3	100.0
私立	74.5	5.4	20.0	100.0

4. 学生の収入状況

学生の収入の内訳を収入総額に占める割合で見ると、「家庭からの給付」が 836,400 円で収入全体の 46.2%を占めており、次いで「奨学金」が 522,000 円で収入全体の 28.8%、「アルバイト」が 329,000 円で収入全体の 18.2%となっている。学生の収入の内訳を前回調査と比較すると、「奨学金」が 39,500 円の増(8.2%)となっており、増減額・増減率ともに最も大きく増加している。次いで「アルバイト」が 24,000 円の増(7.9%)、「定職収入・その他」が 8,700 円の増(7.6%)となっており、収入全体の概ね 5割を占める「家庭からの給付」は 15,100 円の減(▲1.8%)となっている。



学生の収入の構成比

[単位:円]

区分	家庭からの 給付	奨学金	アルバイト収入	定職収入 ・その他	合計
平成30年度 (試行調査)	(46.8) 862,900	(26.9) 495,200	(19.3) 355,000	(7.1) 130,100	(100.0) 1,843,200
令和2年度	(48.6) 851,500	(27.5) 482,500	(17.4) 305,000	(6.5) 114,200	(100.0) 1,753,200
令和4年度	(46.2) 836,400	(28.8) 522,000	(18.2) 329,000	(6.8) 122,900	(100.0) 1,810,300

※()は合計に占める割合(単位:%)である。

学生の収入の増減(令和2年度→令和4年度)

[単位:円、%]

区分	家庭からの 給付	奨学金	アルバイト収入	定職収入 ・その他	合計
増減額	▲ 15,100	39,500	24,000	8,700	57,100
増減率	▲ 1.8	8.2	7.9	7.6	3.3

5. 家庭の年間平均収入額

学生の家庭の年間平均収入額は662万円であり、前回調査と比較すると34万円の増(5.4%)となっている。設置者別では、公立で23万円の減(▲3.6%)、私立で36万円の増(5.7%)となっている。

[単位:千円]

区分	平成30年度 (試行調査)	令和2年度	令和4年度
公立	6,100	6,320 (3.6)	6,090 (▲ 3.6)
私立	6,300	6,280 (▲ 0.3)	6,640 (5.7)
平均	6,290	6,280 (▲ 0.2)	6,620 (5.4)

※()は直前の調査を基準とした増減率(単位:%)である。

6. アルバイト従事状況

アルバイト従事者(調査時前1年間においてアルバイトに従事した経験を有する者)の割合は74.6%となっており、前回調査と比較すると、3.5ポイント増加している。内訳を見ると、「家庭からの給付のみで修学可能」で39.0% (前回調査から5.9ポイント増)、「家庭からの給付のみで修学不自由・困難及び給付無し」で35.6% (同2.4ポイント減)となっている。

[単位:%]

区分	平成30年度 (試行調査)	令和2年度	令和4年度
アルバイト従事者	76.7	71.1 (▲ 5.6)	74.6 (3.5)
家庭からの給付のみで修学可能	35.4	33.1 (▲ 2.3)	39.0 (5.9)
家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し	41.3	38.0 (▲ 3.3)	35.6 (▲ 2.4)
アルバイト非従事者	23.3	28.9 (5.6)	25.4 (▲ 3.5)

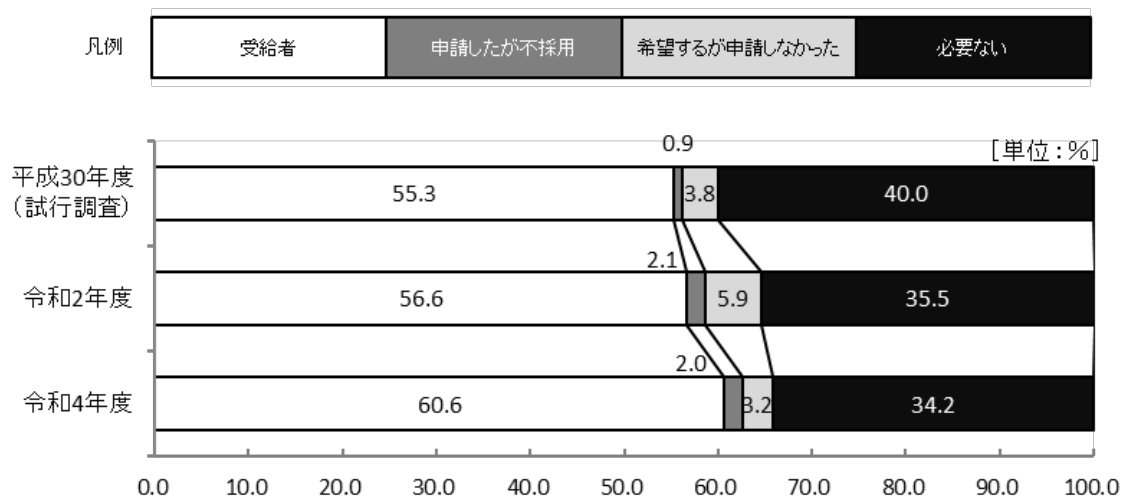
※()は直前の調査からの増減である。

7. 奨学金の受給状況

何らかの奨学金を受給している者の割合は60.6%となっており、前回調査と比較すると割合が増加している。

なお、何らかの奨学金を受給している者の割合とは、日本学生支援機構の給付奨学金、同貸与奨学金、日本学生支援機構以外の給付奨学金、同貸与奨学金のうち、1つ以上を受給したと回答した者の割合である*。

※日本学生支援機構の給付奨学金及び貸与奨学金の受給者の割合は、令和4年度支援実績ベースでは、40.9%となっている。

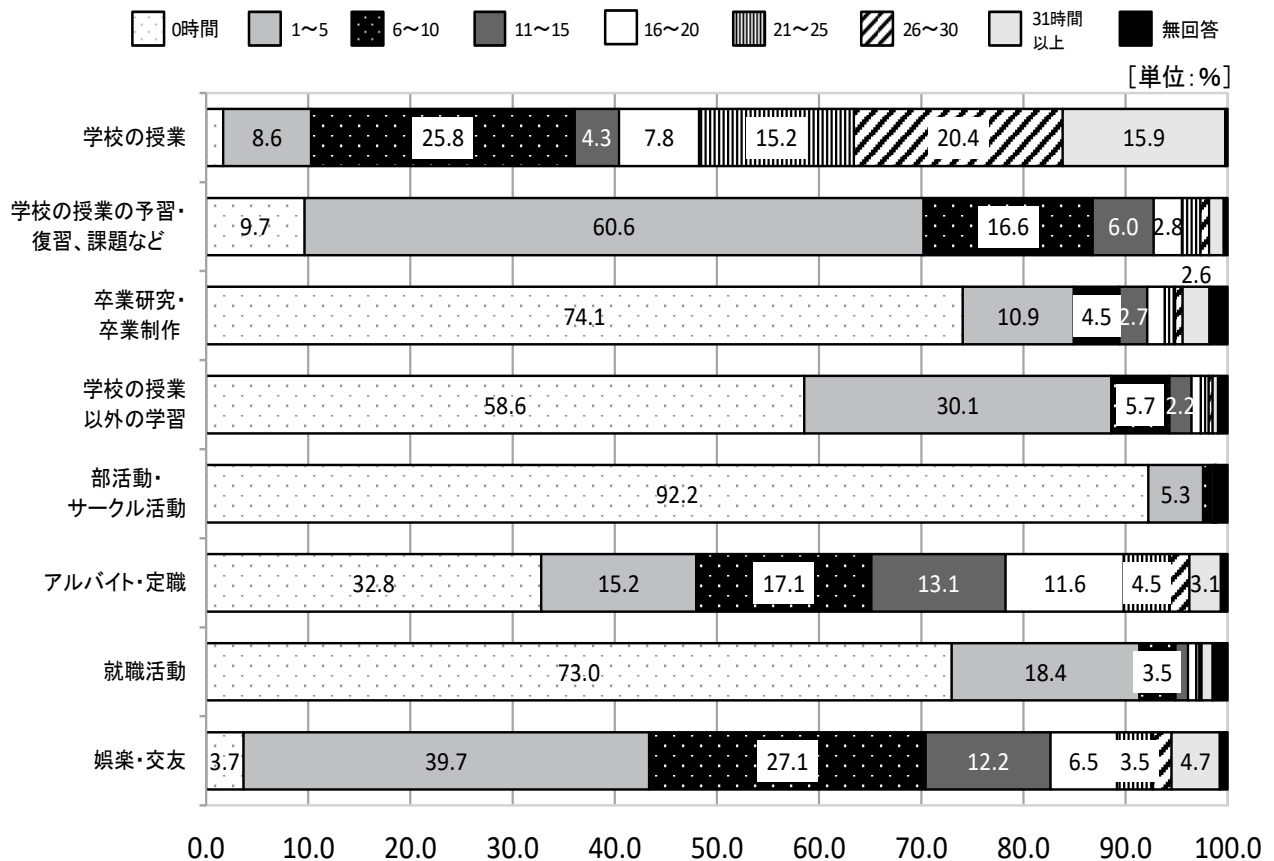


8. 週間平均生活時間

週間平均生活時間は、授業期間中の典型的な1週間（7日間）の生活時間について回答したものである。1時間以上と回答（「0時間」「無回答」以外と回答）した者の割合は、「学校の授業」及び「娯楽・交友」で90%を超えており、「学校の授業の予習・復習、課題など」も概ね9割となっている。

※「学校の授業」には、オンライン授業やオンデマンド型授業の視聴時間も含む。

※「学校の授業以外の学習」には、語学学校、通信講座や独学での学習などが該当する。



Ⅲ. 集計表

1表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（専門学校）

（単位：円）

区分	自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	
収 入	家庭からの給付	…	308,800	774,800	759,300	…	410,200	1,085,200	1,034,900	…	486,900	1,084,300	1,068,600	…	348,600	853,600	836,400
	奨学金	…	249,600	483,200	475,500	…	380,700	677,800	655,700	…	434,600	664,000	658,000	…	294,100	530,000	522,000
	アルバイト収入	…	197,700	333,600	329,100	…	153,100	222,200	217,100	…	222,600	364,100	360,400	…	196,000	333,700	329,000
	定職収入・その他	…	125,600	114,700	115,100	…	78,100	105,100	103,100	…	169,100	157,800	158,100	…	126,400	122,800	122,900
	計	…	881,700	1,706,300	1,679,000	…	1,022,100	2,090,300	2,010,800	…	1,313,200	2,270,200	2,245,100	…	965,100	1,840,100	1,810,300
支 出	授業料	…	187,700	795,600	775,400	…	153,700	726,800	684,100	…	158,300	798,900	782,000	…	179,000	792,500	771,600
	その他の 学校納付金	…	41,200	190,000	185,100	…	68,800	188,600	179,700	…	45,900	180,000	176,500	…	45,300	187,900	183,100
	修学費	…	94,600	92,400	92,400	…	122,600	94,000	96,100	…	73,200	86,900	86,500	…	94,800	91,400	91,500
	課外活動費	…	2,300	5,300	5,200	…	9,600	9,000	9,000	…	2,300	3,800	3,800	…	3,200	5,200	5,100
	通学費	…	88,000	108,400	107,700	…	15,200	21,900	21,400	…	28,900	32,000	31,900	…	69,900	88,400	87,700
	小計（学費）	…	413,800	1,191,700	1,165,800	…	369,900	1,040,300	990,300	…	308,600	1,101,600	1,080,700	…	392,200	1,165,400	1,139,000
	食費	…	68,800	75,800	75,600	…	214,300	237,200	235,500	…	203,600	234,800	234,000	…	107,500	116,500	116,100
	住居・光熱費	…	…	…	…	…	110,100	400,000	378,400	…	367,300	480,400	477,400	…	69,800	118,000	116,300
	保健衛生費	…	50,100	52,200	52,200	…	29,400	45,000	43,800	…	57,100	59,900	59,900	…	48,600	53,400	53,200
	娯楽・嗜好費	…	91,600	106,800	106,300	…	77,400	106,200	104,100	…	102,400	107,400	107,300	…	91,500	106,900	106,300
その他の日常費	…	133,200	152,600	151,900	…	142,900	177,800	175,200	…	163,400	187,500	186,900	…	139,000	160,900	160,200	
小計（生活費）	…	343,700	387,400	386,000	…	574,100	966,200	937,000	…	893,800	1,070,000	1,065,500	…	456,400	555,700	552,100	
計	…	757,500	1,579,100	1,551,800	…	944,000	2,006,500	1,927,300	…	1,202,400	2,171,600	2,146,200	…	848,600	1,721,100	1,691,100	

（参考） n=5, 949

2表 居住形態別・地域別学生生活費の内訳（専門学校）

（単位：円）

	自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均			
	国立	公立	私立	平均	国立	公立	私立	平均	国立	公立	私立	平均	国立	公立	私立	平均
東京圏	…	810,500	1,660,800	1,640,500	…	946,400	2,174,200	2,102,300	…	1,533,500	2,326,800	2,314,200	…	897,200	1,782,400	1,761,300
京阪神	…	901,500	1,656,900	1,649,000	…	986,900	2,085,100	2,074,000	…	1,490,300	2,398,300	2,393,900	…	971,700	1,842,800	1,834,600
その他	…	729,000	1,496,700	1,460,700	…	942,200	1,926,100	1,831,500	…	1,134,600	2,028,900	1,995,200	…	827,000	1,642,100	1,602,500
全 国	…	757,500	1,579,100	1,551,800	…	944,000	2,006,500	1,927,300	…	1,202,400	2,171,600	2,146,200	…	848,600	1,721,100	1,691,100

（参考） n=5,949

（注）「東京圏」とは、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県をいう。

「京阪神」とは、京都府・大阪府・兵庫県をいう。

3表 家庭の年間収入別学生数の割合（専門学校）

（単位：％）

区分		家庭の年間収入															（参考）		
		200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上	計	年間平均収入額	
男	国立	千円	...
	公立	13.7	7.6	16.2	10.7	14.7	7.6	3.6	4.6	5.1	6.6	2.5	0.5	2.0	-	4.6	100.0	6,190	
	私立	11.0	9.4	9.8	10.9	11.7	11.3	9.5	7.3	5.6	4.4	2.0	1.9	1.1	0.8	3.4	100.0	6,370	
女	国立	
	公立	13.8	8.8	10.3	9.2	10.6	11.3	9.1	6.6	5.3	5.8	2.1	1.6	1.3	1.0	3.2	100.0	6,070	
	私立	11.3	9.1	10.2	11.2	11.8	10.6	9.2	7.7	5.5	4.8	2.2	2.1	1.1	0.5	2.7	100.0	6,830	
平均	国立	
	公立	13.8	8.6	11.2	9.5	11.2	10.7	8.2	6.3	5.3	5.9	2.2	1.4	1.4	0.9	3.4	100.0	6,090	
	私立	11.2	9.2	10.0	11.1	11.8	10.9	9.3	7.5	5.5	4.6	2.1	2.0	1.1	0.7	3.0	100.0	6,640	
	平均	11.3	9.2	10.1	11.1	11.7	10.9	9.3	7.5	5.5	4.7	2.1	2.0	1.1	0.7	3.0	100.0	6,620	

（参考）n=6,325

（注）各数値は四捨五入しているため、内訳の合計値と合計欄の値が一致しないことがある。

4表 家庭からの給付程度別・アルバイト従事者の全学生に対する割合（専門学校）

（単位：％）

区 分		アルバイト従事者				計	アルバイト 非従事者	合 計
		家庭からの給付 のみで修学可能	家庭からの給付 のみでは修学に 不自由	家庭からの給付 のみでは修学 継続困難	家庭からの給付 なし			
国 立	男
	女
	平均
公 立	男	42.6	4.5	5.8	9.0	61.9	38.1	100.0
	女	32.8	8.1	3.9	7.7	52.5	47.5	100.0
	平均	34.3	7.5	4.2	7.9	54.0	46.0	100.0
私 立	男	37.9	15.7	12.0	8.7	74.4	25.6	100.0
	女	40.1	17.2	9.8	9.0	76.1	23.9	100.0
	平均	39.2	16.6	10.7	8.9	75.4	24.6	100.0
平 均	男	37.9	15.6	11.9	8.7	74.2	25.8	100.0
	女	39.7	16.7	9.5	8.9	74.8	25.2	100.0
	平均	39.0	16.2	10.5	8.9	74.6	25.4	100.0

（参考） n=6,874

（注）各数値は四捨五入しているため、内訳の合計値と合計欄の値が一致しないことがある。

5表 アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合（専門学校）

(単位：%)

区 分			家庭教師	事 務	販 売	飲食業	販売・飲食業を除く 軽労働	重労働・ 危険作業	特殊技能	その他	計	従事日数別 割合
国立	授業 期間中	不 定 期 的 に し た
		週 に 1 ～ 2 日 し た
		週 に 3 日 以 上 し た
		平 均
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た
		平 均
公立	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	3.8	1.5	12.0	33.8	8.3	3.8	0.7	36.1	100.0	18.8
		週 に 1 ～ 2 日 し た	2.8	1.2	20.0	46.5	4.3	0.9	0.9	23.4	100.0	46.0
		週 に 3 日 以 上 し た	2.4	1.2	26.1	42.2	5.6	1.2	1.2	20.1	100.0	35.2
		平 均	2.8	1.3	20.7	42.6	5.5	1.6	1.0	24.6	100.0	100.0
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	2.9	2.2	16.2	25.7	7.4	4.4	1.4	39.7	100.0	19.6
		平 均	2.7	1.4	20.9	41.6	5.9	1.6	1.0	24.9	100.0	100.0
私立	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	0.6	3.3	17.6	32.6	10.1	3.7	1.9	30.2	100.0	12.2
		週 に 1 ～ 2 日 し た	1.6	2.1	25.2	47.2	5.2	1.3	1.1	16.3	100.0	35.6
		週 に 3 日 以 上 し た	0.6	1.4	28.0	50.4	5.0	1.3	0.9	12.5	100.0	52.2
		平 均	0.9	1.9	25.7	47.1	5.7	1.6	1.1	16.0	100.0	100.0
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	1.3	2.2	16.5	37.0	10.8	3.4	1.3	27.5	100.0	14.6
		平 均	0.9	1.9	25.6	47.1	6.1	1.8	0.9	15.7	100.0	100.0
平均	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	0.7	3.2	17.3	32.7	10.0	3.7	1.8	30.4	100.0	12.4
		週 に 1 ～ 2 日 し た	1.6	2.1	25.0	47.2	5.2	1.3	1.1	16.6	100.0	35.8
		週 に 3 日 以 上 し た	0.6	1.3	28.0	50.2	5.0	1.3	0.9	12.6	100.0	51.8
		平 均	1.0	1.9	25.6	47.0	5.7	1.6	1.1	16.2	100.0	100.0
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	1.3	2.2	16.5	36.6	10.7	3.5	1.3	28.0	100.0	14.7
		平 均	1.0	1.8	25.5	47.0	6.1	1.8	0.9	15.9	100.0	100.0

(参考) 授業期間中n=4,670、長期休暇中n=4,515

(注) 各数値は四捨五入しているため、内訳の合計値と合計欄の値が一致しないことがある。

6表 設置者別・家庭の年間収入別奨学金の希望及び受給の状況（専門学校）

(単位：%)

区分	希望及び受給の状況	家庭の年間収入															計		
		200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上			
国立	受給者	
	申請したが不採用	
	希望するが申請しなかった	
	必要ない	
公立	受給者	100.0	51.9	18.0	12.6	14.7	10.7	10.5	9.9	7.7	4.5	3.5	3.3	1.4	0.8	0.9	0.5	1.1	100.0
	申請したが不採用	2.0	11.5	7.7	11.5	3.8	7.7	15.4	3.8	-	3.8	19.2	3.8	3.8	3.8	-	-	3.8	100.0
	希望するが申請しなかった	4.3	18.2	10.9	12.7	9.1	18.2	9.1	3.6	3.6	5.5	1.8	-	3.6	-	-	-	3.6	100.0
	必要ない	41.8	8.0	3.5	7.1	8.2	11.4	11.9	9.9	8.8	7.5	9.0	3.2	1.9	2.1	1.5	6.2	6.2	100.0
私立	受給者	100.0	60.9	14.3	12.3	12.5	12.3	13.1	10.6	8.5	5.9	4.0	2.7	1.0	1.1	0.5	0.2	1.0	100.0
	申請したが不採用	2.0	9.0	9.0	6.0	15.0	6.0	7.0	7.0	10.0	10.0	6.0	5.0	7.0	3.0	2.0	1.0	6.0	100.0
	希望するが申請しなかった	3.2	13.0	13.0	6.8	5.6	7.4	13.6	11.7	11.7	8.0	4.9	5.6	1.9	3.1	2.5	0.6	3.7	100.0
	必要ない	33.9	5.9	5.9	4.0	5.9	9.4	9.8	11.4	10.5	10.1	8.2	8.0	3.8	3.5	1.9	1.4	6.3	100.0
平均	受給者	100.0	60.6	14.4	12.3	12.6	12.3	13.0	10.6	8.4	5.9	4.0	2.8	1.0	1.1	0.6	0.2	1.0	100.0
	申請したが不採用	2.0	9.1	9.1	6.1	14.9	5.9	7.0	7.3	9.8	9.6	5.9	5.5	6.9	3.0	2.1	1.0	5.9	100.0
	希望するが申請しなかった	3.2	13.2	13.2	7.0	5.9	7.5	13.8	11.6	11.3	7.8	5.0	5.4	1.8	3.1	2.3	0.6	3.7	100.0
	必要ない	34.2	6.0	6.0	4.0	5.9	9.3	9.9	11.4	10.5	10.0	8.2	8.0	3.8	3.4	1.9	1.4	6.3	100.0

(参考) n=6,367

(注) 上記区分「希望するが申請しなかった」は、日本学生支援機構奨学金では「希望したが申請しなかった」、かつ、他の奨学金では「申請しなかった」と回答した者とした。

上記区分「必要ない」は、日本学生支援機構奨学金では「奨学金は必要なかった」、かつ、他の奨学金では「申請しなかった」と回答した者とした。

各数値は四捨五入しているため、内訳の合計値と合計欄の値が一致しないことがある。

受給者の状況には、日本学生支援機構の奨学金（給付・貸与）とそれ以外の奨学金（給付・貸与）の両方を含む。

7表 設置者別・奨学金の種類別学生数の割合（専門学校）

(単位：%)

	奨 学 金 の 種 類			
	日本学生支援機構	その他の奨学金	両 方	計
国 立
公 立	53.3	34.6	12.1	100.0
私 立	83.2	9.6	7.1	100.0
平 均	82.3	10.4	7.3	100.0

(参考) n=3,538

(注) 各数値は四捨五入しているため、内訳の合計値と合計欄の値が一致しないことがある。

8表 設置者別・週間平均生活時間（専門学校）

(単位：%)

区分		0時間	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31時間以上	無回答	計
学校の授業	国立
	公立	1.7	3.5	38.2	1.9	3.1	3.6	29.7	18.0	0.1	100.0
	私立	1.7	8.8	25.3	4.4	8.0	15.6	20.1	15.8	0.3	100.0
	平均	1.7	8.6	25.8	4.3	7.8	15.2	20.4	15.9	0.2	100.0
学校の授業の 予習・復習、 課題など	国立
	公立	5.6	60.1	16.0	7.9	4.0	3.7	1.2	1.4	0.2	100.0
	私立	9.8	60.6	16.6	5.9	2.7	1.7	0.8	1.5	0.4	100.0
	平均	9.7	60.6	16.6	6.0	2.8	1.8	0.8	1.5	0.4	100.0
卒業研究・ 卒業制作	国立
	公立	72.5	11.1	4.7	2.7	1.7	1.0	1.0	3.3	2.0	100.0
	私立	74.1	10.9	4.5	2.7	1.7	1.0	0.7	2.6	1.8	100.0
	平均	74.1	10.9	4.5	2.7	1.7	1.0	0.7	2.6	1.8	100.0
学校の授業 以外の学習	国立
	公立	58.9	28.6	6.1	2.6	1.5	0.4	0.1	0.7	1.0	100.0
	私立	58.5	30.1	5.7	2.1	0.9	0.8	0.4	0.5	0.9	100.0
	平均	58.6	30.1	5.7	2.2	0.9	0.8	0.4	0.5	0.9	100.0
部活動・ サークル活動	国立
	公立	94.6	4.2	0.1	0.2	-	0.1	-	-	0.8	100.0
	私立	92.2	5.4	0.8	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	1.1	100.0
	平均	92.2	5.3	0.8	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	1.1	100.0
アルバイト・ 定職	国立
	公立	55.8	13.2	13.3	7.2	5.6	2.3	0.7	1.3	0.6	100.0
	私立	31.9	15.2	17.3	13.4	11.8	4.6	2.0	3.1	0.7	100.0
	平均	32.8	15.2	17.1	13.1	11.6	4.5	1.9	3.1	0.7	100.0
就職活動	国立
	公立	82.0	12.0	2.5	0.8	0.5	0.3	0.3	0.6	1.0	100.0
	私立	72.6	18.6	3.6	1.3	0.8	0.3	0.2	1.1	1.5	100.0
	平均	73.0	18.4	3.5	1.2	0.8	0.3	0.2	1.1	1.5	100.0
娯楽・交友	国立
	公立	5.2	47.8	23.2	9.9	4.5	3.3	1.3	4.2	0.6	100.0
	私立	3.6	39.4	27.2	12.3	6.6	3.5	1.8	4.7	0.8	100.0
	平均	3.7	39.7	27.1	12.2	6.5	3.5	1.8	4.7	0.8	100.0

(参考) n=6, 981

(注) 各数値は四捨五入しているため、内訳の合計値と合計欄の値が一致しないことがある。

「学校の授業」には、オンライン授業やオンデマンド型授業の視聴時間も含む。

「学校の授業以外の学習」には、語学学校、通信講座や独学での学習などが該当する。

IV. 參考資料

令和4年度専門学校生生活調査 調査票

令和4年度専門学校生生活調査

～専門学校生の皆様へ(回答へのご協力をお願い)～

この調査は、専門学校生の支援の充実を図ることを目的として実施しています。

調査結果は、国の教育政策実施のための資料として使用されるほか、専門学校生の生活に関する調査研究の基礎的資料として活用されます。また、日本学生支援機構が学生支援の充実のために意義のある調査研究であると判断した場合、回答内容を研究機関等に提供することがあります。どのように使用されても、あなたが回答した内容によって、あなた個人が特定されることはありません。

学業やその他の活動でお忙しい中とは思いますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

- (1) 設問のうち「※必須」と表示しているものには、必ず回答のうえ次ページに進んでください。
- (2) 回答は全部で5ページです。各ページ下の「次へ」で次ページに進み、「前へ」で前ページに戻ることができます。
- (3) 回答は中断できます。ただし、ブラウザが履歴を残さない設定の場合、回答途中でブラウザを閉じると、それまでの回答は保存されません。
- (4) 最終ページまで回答したら、「回答確認画面」で全ての回答内容を確認できます。修正する場合は、回答ページに戻って修正し、再度、「回答確認画面」で確認してください。
- (5) 全ての確認が終わったら、「送信」することで回答が終了します。

I. あなた自身について

(1)現在の学年について ※必須	<input type="radio"/> 1学年 <input type="radio"/> 2学年 <input type="radio"/> 3学年 <input type="radio"/> 4学年 留年や休学などは数えません。例:2年生を留年して現在3年目の場合は、「2学年」を選択してください。
(2)学科(専攻)の系統について ※必須	<input type="radio"/> 工業 <input type="radio"/> 農業 <input type="radio"/> 医療(看護含む) <input type="radio"/> 衛生 <input type="radio"/> 教育・社会福祉 <input type="radio"/> 商業実務 <input type="radio"/> 服飾・家政 <input type="radio"/> 文化・教養 <input type="radio"/> その他 学科(専攻)の系統の詳細はこちら(リンク)
(3)学校の所在地について ※必須	<input type="radio"/> 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県 <input type="radio"/> 大阪府・京都府・兵庫県 <input type="radio"/> その他の道、県 通学している校舎が複数ある場合は、主に通学している校舎の所在地のある地域を選択してください。
(4)性別について	<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性 <input type="radio"/> その他
(5)年齢について	(数値入力)
(6)現在住んでいるところについて	<input type="radio"/> 自宅(家族と同居している場合で、持家、借家、社宅等は問いません。) <input type="radio"/> 学生寮(寄宿舎)(学校が借り上げている宿舎や公益法人等が経営している寄宿舎に居住している場合を含みます。) <input type="radio"/> 下宿・アパート・その他(修学のために単身で居住している場合で、間借、学生マンション、親戚・知人宅を含みます。)

Ⅱ. 学生生活の状況について

(7) 授業期間中の典型的な1週間(7日間)の生活時間について(それぞれの項目について、あてはまるものを選択)

項目	0時間	1-5時間	6-10時間	11-15時間	16-20時間	21-25時間	26-30時間	31時間以上
学校の授業(オンライン授業やオンデマンド型授業の視聴時間を含みます。)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校の授業の予習・復習、課題など	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
卒業研究・卒業制作	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学校の授業以外の学習(語学学校、通信講座や独学での学習などが該当します。)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
部活動・サークル活動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アルバイト・定職	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
就職活動	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
娯楽・交友	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Ⅲ. あなた自身の経済状況について

(8) 家庭からの給付のみで修学可能ですか(最近1年間の経験から)	<input type="radio"/> 修学可能 <input type="radio"/> 修学不自由 <input type="radio"/> 修学継続困難 <input type="radio"/> 家庭からの給付はない 家庭からの給付とは、親や配偶者などから受けた支援のことです。親などが支払った授業料も含まれます。
(9) 授業料減免制度を受けていますか(令和4年度前期分について)	<input type="radio"/> 全額を受けた <input type="radio"/> 半額以上全額未満を受けた <input type="radio"/> 半額未満を受けた <input type="radio"/> 申請したが不許可になった <input type="radio"/> 申請しなかった <input type="radio"/> 減免制度を知らない
(10) 日本学生支援機構の奨学金を受けていますか(最近1年間)	<input type="radio"/> 奨学金を受けた <input type="radio"/> 申請したが不採用になった(どの奨学金も受けられなかった) <input type="radio"/> 希望したが申請しなかった <input type="radio"/> 奨学金は必要なかった

(10-1) 受けた日本学生支援機構の奨学金の種類について(あてはまるもの全てを選択)

「給付」奨学金(返済が不要)
 「貸与」第一種奨学金(無利子)
 「貸与」第二種奨学金(有利子)

(11) 日本学生支援機構以外 の奨学金を受けていますか (最近1年間)	<input type="radio"/> 給付奨学金を受けた <input type="radio"/> 貸与奨学金を受けた <input type="radio"/> 給付・貸与の両方を受けた <input type="radio"/> 申請したが不採用になった(どの奨学金も受けられなかった) <input type="radio"/> 申請しなかった 学校、地方公共団体、民間の奨学金事業団体などから受けている奨学金・奨励金、教育訓練給付制度による給付金が該当します。
--	--

(12) 最近1年間にアルバイト をしましたか(授業期間中と長期 休暇中のそれぞれについて 1つを選択)	【授業期間中】	<input type="radio"/> まったくしなかった <input type="radio"/> 不定期的にした <input type="radio"/> 週に1~2日した <input type="radio"/> 週に3日以上した
	【長期休暇中】	<input type="radio"/> まったくしなかった <input type="radio"/> 不定期的にした <input type="radio"/> 週に1~2日した <input type="radio"/> 週に3日以上した

(12-1) アルバイトの従事職種について(主なもの1つを選択)

塾講師・家庭教師など 事務 販売 飲食業
 販売・飲食業を除く軽労働 重労働・危険作業 特殊技能 その他
 各職種の詳細はこちら(リンク)

(13) 最近1年間の収入額・支出額について

令和3年12月～令和4年11月の1年間(令和4年度に入学した方は令和4年4月～令和5年3月の1年間)の収入額・支出額を、次のように算出して回答してください。
 <算出方法>

- ・毎月の定例的な収入・支出は、最近1か月の金額×12か月
- ・特定時期あるいは臨時的な収入・支出は、1年間の収入・支出の実際の額又は見込額
- ※千円未満は四捨五入、収入額・支出額がない場合は「0」と回答してください。

(13-1) 最近1年間の収入額 各項目の詳細はこちら(リンク)

前の質問の回答内容によって、金額入力不可としている項目があります。

	千万	百万	十万	万	千	
家庭からの給付(親などが支払った授業料を含む)	(数値入力)					000 円
日本学生支援機構の給付奨学金(返済不要)	(数値入力)					000 円
日本学生支援機構の貸与奨学金(返済が必要)	(数値入力)					000 円
日本学生支援機構 以外 の給付奨学金(返済不要)	(数値入力)					000 円
日本学生支援機構 以外 の貸与奨学金(返済が必要)	(数値入力)					000 円
アルバイト収入	(数値入力)					000 円
定職収入	(数値入力)					000 円
その他(貯蓄などを取り崩した金額や借入金など)	(数値入力)					000 円
年間収入合計(ア)	(自動計算)					000 円

(13-2) 最近1年間の支出額 各項目の詳細はこちら(リンク)

前の質問の回答内容によって、金額入力不可としている項目があります。

学費	千万	百万	十万	万	千	
授業料(親などが支払った授業料も含む。授業料減免を受けた場合は減免後の額。)	(数値入力)					000 円
その他の学校納付金(施設費、実習実験費、後援会費など。入学金等の一時金は除く)	(数値入力)					000 円
修学費(教科書、図書代、文具購入費など)	(数値入力)					000 円
課外活動費(サークル活動費、自治会活動費など)	(数値入力)					000 円
通学費(通学定期代、ガソリン代など)	(数値入力)					000 円
生活費	千万	百万	十万	万	千	
食費(自宅通学者は外食費のみ回答)	(数値入力)					000 円
住居・光熱費(自宅通学者は「0」と回答)	(数値入力)					000 円
保健衛生費(診療代、薬代、理容美容代など)	(数値入力)					000 円
娯楽・嗜好費(趣味、旅行など)	(数値入力)					000 円
通信費(携帯電話、インターネットの利用料金など)	(数値入力)					000 円
その他の日常費(衣服代、帰省費用など上記以外の経費)	(数値入力)					000 円
預貯金(1年間で貯蓄した額)	(数値入力)					000 円
学費+生活費	千万	百万	十万	万	千	
年間支出合計(イ)	(自動計算)					000 円

年間収入合計(ア)＝年間支出合計(イ)となるよう金額を確認してください。

	千万	百万	十万	万	千	
年間収入合計(ア)	(自動計算)					000 円
年間支出合計(イ)	(自動計算)					000 円

IV. 家庭の状況について

この項目は、学生支援策の検討において重要な情報として使用されています。家族によく確かめたうえで、できるだけ正確に回答してください。

(14)主な家計支持者について	<input type="radio"/> 父 <input type="radio"/> 母 <input type="radio"/> あなた自身 <input type="radio"/> 配偶者 <input type="radio"/> その他 あなたが結婚などにより独立した家庭を築いている場合は、その独立した家庭の主な家計支持者を選択してください。																						
(15)主な家計支持者の年齢について	<input type="radio"/> 44歳以下 <input type="radio"/> 45～49歳 <input type="radio"/> 50～54歳 <input type="radio"/> 55～59歳 <input type="radio"/> 60歳以上																						
(16)あなたの家庭の最近1年間(12か月)の所得総額(税込額)について	家庭の所得の総額を、ア)主な家計支持者とイ)その他の家族の方に分けて、それぞれ回答してください。 ただし、学校に在学する方が得た所得は除いてください。 なお、あなたが結婚などにより独立した家庭を築いている場合は、その独立した家庭の所得総額を、あなたの所得も含めて、回答してください。 ※1万円未満は四捨五入、所得がない場合は「0」と回答してください。 所得に含めるものについてはこちら(リンク) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> ア)主な家計支持者 <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 20%;">億</td> <td style="width: 20%;">千万</td> <td style="width: 20%;">百万</td> <td style="width: 20%;">十万</td> <td style="width: 20%;">万</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(数値入力)</td> </tr> </table> 万円 </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> イ)その他の方 <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 20%;">億</td> <td style="width: 20%;">千万</td> <td style="width: 20%;">百万</td> <td style="width: 20%;">十万</td> <td style="width: 20%;">万</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(数値入力)</td> </tr> </table> 万円 </td> </tr> </table>	ア)主な家計支持者 <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 20%;">億</td> <td style="width: 20%;">千万</td> <td style="width: 20%;">百万</td> <td style="width: 20%;">十万</td> <td style="width: 20%;">万</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(数値入力)</td> </tr> </table> 万円	億	千万	百万	十万	万	(数値入力)					イ)その他の方 <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 20%;">億</td> <td style="width: 20%;">千万</td> <td style="width: 20%;">百万</td> <td style="width: 20%;">十万</td> <td style="width: 20%;">万</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(数値入力)</td> </tr> </table> 万円	億	千万	百万	十万	万	(数値入力)				
ア)主な家計支持者 <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 20%;">億</td> <td style="width: 20%;">千万</td> <td style="width: 20%;">百万</td> <td style="width: 20%;">十万</td> <td style="width: 20%;">万</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(数値入力)</td> </tr> </table> 万円	億	千万	百万	十万	万	(数値入力)					イ)その他の方 <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="width: 20%;">億</td> <td style="width: 20%;">千万</td> <td style="width: 20%;">百万</td> <td style="width: 20%;">十万</td> <td style="width: 20%;">万</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">(数値入力)</td> </tr> </table> 万円	億	千万	百万	十万	万	(数値入力)						
億	千万	百万	十万	万																			
(数値入力)																							
億	千万	百万	十万	万																			
(数値入力)																							

質問は以上です。回答内容を確認してください。



ご協力ありがとうございました。

専門学校（回答要領）

I. あなた自身について

(2) 学科（専攻）の系統

工業	測量、土木・建築、電気・電子、無線・通信、自動車整備、機械、電子計算機、情報処理等
農業	農業、園芸等
医療（看護含む）	看護、准看護、歯科衛生、歯科技工、臨床検査、診療放射線、はり・きゅう・あんま、柔道整復、理学・作業療法等
衛生	栄養、調理、理容、美容、製菓・製パン等
教育・社会福祉	保育士養成、教員養成、介護福祉、社会福祉等
商業実務	商業、経理・簿記、タイピスト、秘書、経営、旅行、情報、ビジネス等
服飾・家政	家政、家庭、和洋裁、料理、編物・手芸、ファッションビジネス等
文化・教養	音楽、美術、デザイン、茶華道、外国語、演劇・映画、写真、通訳・ガイド、動物、法律行政、スポーツ等
その他	上記の分類にあてはまらない学科および専攻

III. あなた自身の経済状況について

(12-1) アルバイトの従事職種

塾講師・家庭教師など	塾・予備校講師、家庭教師、試験監督・採点など
事務	一般事務、データ入力、パソコン入力事務、コールセンターなど
販売	コンビニ・スーパー・デパート・量販店等での販売（レジ係を含む）、営業など
飲食業	調理、接客、デリバリーなど
販売・飲食業を除く軽労働	清掃、警備、包装、配布、新聞配達、製造、調査、イベントスタッフなど
重労働・危険作業	土木工事、重量物運搬、引越しスタッフ、倉庫整理、プレス作業、建築の現場作業、高所の屋外作業など
特殊技能	通訳、翻訳、製図、プログラミング、インストラクターなど
その他	その他上記の職種にあてはまらない職種

(13-1) 最近1年間の収入額

家庭からの給付	親や配偶者など、あなた以外の方から支援を受けた額を回答してください。小遣いや仕送りなどの直接受け取った額と、親が支払った授業料のように、あなた以外の方が代わりに支払った額の両方を合計してください。 ※入学金等の一時金を支払うために受けた額は、除いてください。 ※自宅での食費など、あなたの分を区分することが難しい場合は含めないでください。
日本学生支援機構の給付奨学金	日本学生支援機構から給付される奨学金を受けている方は、その年額を回答してください。
日本学生支援機構の貸与奨学金	日本学生支援機構から奨学金の貸与を受けている方は、その年額を回答してください。入学時特別増額は含めないでください。
日本学生支援機構 <u>以外</u> の給付奨学金	日本学生支援機構の給付奨学金「以外」の給付奨学金・奨励金を受けている方（下記①②）は、その年額を回答してください。 ①学校独自の学内奨学金など、学校から給付される奨学金を受けている方 ②地方公共団体、民間の奨学金事業団体などから給付奨学金・奨励金を受けている方、教育訓練給付制度による給付金を受けている方
日本学生支援機構 <u>以外</u> の貸与奨学金	日本学生支援機構の貸与奨学金「以外」の貸与制（返済が必要な）奨学金などを受けている方は、その年額を回答してください。 ※条件付で返還が免除される奨学金は「貸与制」ですので、こちらに回答してください。
アルバイト収入	次の「定職収入」にあてはまらないもので、学費または生活費を補うために働いて得た収入について、税込額を回答してください。

定職収入	臨時的ではない、安定した職業から得られた収入について、税込額を回答してください。
その他	あなたの貯蓄などを取り崩して支出にあてた額や、あなたの資産から生ずる利子収入・配当収入などのうちあなたの分として充当した額、あなたが奨学金以外で借り入れをして今回調査期間中の支出に充当した額など、上記の項目に該当しない全ての収入を回答してください。新型コロナウイルス関連の給付金等（学校独自の支援金、学生支援緊急給付金、特別定額給付金など）は、こちらに回答してください。

(13-2) 最近1年間の支出額

授業料	令和4年度分の授業料年額（親などが支払ったものも含む）。ただし、授業料減免を受けた場合は、減免された額を引いてください。 例) 授業料が年額60万円で、半額の減免を受けた場合は、30万円と回答。
その他の学校納付金	授業料以外に学校に納めなければならない令和4年度分の経費（施設費、実験実習費、後援会費など）。入学金等の一時金は除いてください。
修学費	上記のほかに、勉学のために支出した経費。 例) 教科書・参考図書・実習材料・文具類の購入費・実習旅行費・実習を受けるため加入した保険料など
課外活動費	サークル活動や自治会活動など課外活動に支出した経費。 例) サークル会費・合宿費・遠征費・用具購入費・自治会費など
通学費	通学に要する経費。通学定期券代のほか、自転車、バイクや自動車などのガソリン代、維持費なども含みます。
食費	自宅通学者・・・外食した時の経費のみ。 自宅外通学者・・・外食、自炊の費用、食事付きの寮等で食費として支払う額の合計。 ※間食、酒などの嗜好品は「娯楽・嗜好費」に回答
住居・光熱費	自宅通学者・・・「0」と回答してください。 自宅外通学者・・・家賃（管理費、共益費など含む）、光熱水費、暖房費などの合計額。 食事付きの寮等で食費を含めて支払っている場合は、食費を除き、住居・光熱費のみを算定して回答してください。
保健衛生費	診療代・薬代・理容美容代・化粧品代・銭湯代など。
娯楽・嗜好費	趣味、旅行、レクリエーションなどの費用および酒、タバコ、間食代など。
通信費	携帯電話、固定電話、インターネットの利用料金など。
その他の日常費	衣服代、帰省のための交通費、社会保険料（年金等）など、上記に含まれない日常的な経費すべて。
預貯金	1年間で貯蓄した額。残高ではありません。

IV. 家庭の状況について

(16) 家庭の所得に含めるもの

事業所得	個人が経営する農業・漁業・製造業・卸売業・小売業・サービス業などから生ずる所得で、その年の総収入から事業経営に必要な経費を控除した額です。（農業、小売業などで生産品または商品を自家消費した場合は、時価に換算した見積額を所得に加算してください。）
給与所得	俸給、給料、賃金、歳費、賞与など、労務または役務の対価として受けた所得です。
資産所得	利子所得、配当所得、不動産所得など、資産から生ずる所得です。
その他の所得	恩給、年金、家庭の内職収入および世帯員以外の者からの経済的援助などの合計額です。（退職金、財産売却、相続などのため、臨時的に得た収入および借入金を含めないでください。新型コロナウイルス関連で臨時的に得た給付金や助成金等も、含めないでください。）

【学生用調査案内】専門学校サンプル



令和4年度専門学校生生活調査

～専門学校生の皆様へ（回答へのご協力をお願い）～

この調査は、専門学校生の支援の充実を図ることを目的として実施しています。

調査結果は、国の教育政策実施のための資料として使用されるほか、専門学校生の生活に関する調査研究の基礎的資料として活用されます。また、日本学生支援機構が学生支援の充実のために意義のある調査研究であると判断した場合、回答内容を研究機関等に提供することがあります。どのように使用されても、あなたが回答した内容によって、あなた個人が特定されることはありません。

学業やその他の活動でお忙しい中とは思いますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

独立行政法人日本学生支援機構

オンライン回答

この調査はオンラインで回答するものです。
以下の URL、 から、調査回答ページにアクセスしてください。

【重要】この調査は学校を通じて依頼された人だけが回答するものです。

調査回答ページの URL や を、SNS やメールなどで絶対に
拡散しないでください。

推奨	スマートフォン	iPhone Safari 最新版	Android Google Chrome 最新版
ブラウザ	PC	Windows Microsoft Edge 最新版、Google Chrome 最新版	Mac Safari 最新版

回答期間

令和4年

11月1日(火)

∩

12月16日(金)

■ 事前の回答準備（下書き）のすすめ ■

この調査には質問が16問あります。「質問(13-1)最近1年間の収入額」「質問(13-2)最近1年間の支出額」「質問(16)家庭の所得総額」では、それぞれの金額をお聞きます。事前に次ページ以降の「下書き」により、回答をご準備いただければ、調査全体は15分程度で回答できます。

■ 回答を中断する場合 ■

回答を途中で中断することができます。ただし、ブラウザが履歴を残さない設定の場合、回答途中でブラウザを閉じると、それまでの回答は保存されません。また、回答再開時に、中断前とは異なる端末からアクセスした場合、回答済みの内容は表示されません。

※一度送信した回答を修正することはできません。

質問項目（全 16 問）

I. あなた自身について

- (1) 現在の学年について (2) 学科（専攻）の系統について
 (3) 学校の所在地について (4) 性別について
 (5) 年齢について (6) 現在住んでいるところについて

II. 学生生活の状況について

- (7) 授業期間中の典型的な 1 週間（7 日間）の生活時間について
 授業/予習・復習等/卒業研究/学校以外での学習/部活・サークル/アルバイト/就職活動/娯楽・交友

III. あなた自身の経済状況について

- (8) 家庭からの給付のみで修学可能ですか（最近 1 年間の経験から）
 (9) 授業料減免制度を受けていますか（令和 4 年度前期分について）
 (10) 日本学生支援機構の奨学金を受けていますか（最近 1 年間）
 (10-1)（受けた場合）受けた日本学生支援機構の奨学金の種類について
 (11) 日本学生支援機構以外の奨学金を受けていますか（最近 1 年間）
 (12) 最近 1 年間にアルバイトをしましたか（授業期間中／長期休暇中）
 (12-1)（アルバイトをした場合）アルバイトの従事職種について
 (13-1) 最近 1 年間の収入額 ☞ 下書き①
 (13-2) 最近 1 年間の支出額 ☞ 下書き②

IV. 家庭の状況について

- (14) 主な家計支持者について
 (15) 主な家計支持者の年齢について
 (16) あなたの家庭の最近 1 年間（12 か月）の所得総額（税込額）について ☞ 下書き③

☞ 下書き① 質問（13-1）最近 1 年間の収入額

令和 3 年 12 月～令和 4 年 11 月の 1 年間（令和 4 年度に入学した方は令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月の 1 年間）の収入額を、次のように算出して回答してください。

<算出方法>

- ・毎月の定例的な収入は、最近 1 か月の金額×12 か月
- ・特定時期あるいは臨時的な収入は、1 年間の収入の実際の額又は見込額
- ※千円未満は四捨五入、収入額がない場合は「0」と回答してください。

項目	千万	百万	十万	万	千	項目	内容
家庭からの給付						000 円	親や配偶者など、あなた以外の方から支援を受けた額を回答してください。小遣いや仕送りなどの直接受け取った額と、親が支払った授業料のように、あなた以外の方が代わりに支払った額の両方を合計してください。 ※入学金等の一時金を支払うために受けた額は、除いてください。 ※自宅での食費など、あなたの分を区分することが難しい場合は含めないでください。
日本学生支援機構の給付奨学金						000 円	日本学生支援機構から給付される奨学金を受けている方は、その年額を回答してください。
日本学生支援機構の貸与奨学金						000 円	日本学生支援機構から奨学金の貸与を受けている方は、その年額を回答してください。入学時特別増額は含めないでください。
日本学生支援機構 <u>以外</u> の給付奨学金						000 円	日本学生支援機構の給付奨学金「以外」の給付奨学金・奨励金を受けている方（下記①②）は、その年額を回答してください。 ①学校独自の学内奨学金など、学校から給付される奨学金を受けている方 ②地方公共団体、民間の奨学金事業団体などから給付奨学金・奨励金を受けている方、教育訓練給付制度による給付金を受けている方

日本学生支援機構以外の貸与奨学金					000 円	日本学生支援機構の貸与奨学金「以外」の貸与制（返済が必要な）奨学金を受けている方は、その年額を回答してください。 ※条件付で返還が免除される奨学金は「貸与制」ですので、こちらに回答してください。
アルバイト収入					000 円	次の「定職収入」にあてはまらないもので、学費または生活費を補うために働いて得た収入について、税込額を回答してください。
定職収入					000 円	臨時的ではない、安定した職業から得られた収入について、税込額を回答してください。
その他					000 円	あなたの貯蓄などを取り崩して支出にあてた額や、あなたの資産から生ずる利子収入・配当収入などのうちあなたの分として充当した額、あなたが奨学金以外で借入れをして今回調査期間中の支出に充当した額など、上記の項目に該当しない全ての収入を回答してください。新型コロナウイルス関連の給付金等（学校独自の支援金、学生支援緊急給付金、特別定額給付金など）は、こちらに回答してください。
年間収入合計 (ア)					000 円	上記の金額を合計してください。

☞下書き② 質問（13-2）最近1年間の支出額

令和3年12月～令和4年11月の1年間（令和4年度に入学した方は令和4年4月～令和5年3月の1年間）の支出額を、次のように算出して回答してください。

<算出方法>

- ・毎月の定例的な支出は、最近1か月の金額×12か月
 - ・特定時期あるいは臨時的な支出は、1年間の支出の実際の額又は見込額
- ※千円未満は四捨五入、支出額がない場合は「0」と回答してください。

項目	千万	百万	十万	万	千	内容
学費						
授業料					000 円	令和4年度分の授業料年額（親などが支払ったものも含む）。ただし、授業料減免を受けた場合は、減免された額を引いてください。 例) 授業料が年額60万円で、半額の減免を受けた場合は、30万円と回答。
その他の学校納付金					000 円	授業料以外に学校に納めなければならない令和4年度分の経費（施設費、実験実習費、後援会費など）。入学金等の一時金は除いてください。
修学費					000 円	上記のほかに、勉学のために支出した経費。 例) 教科書・参考図書・実習材料・文具類の購入費・実習旅行費・実習を受けるため加入した保険料など
課外活動費					000 円	サークル活動や自治会活動など課外活動に支出した経費。 例) サークル会費・合宿費・遠征費・用具購入費・自治会費など
通学費					000 円	通学に要する経費。通学定期券代のほか、自転車、バイクや自動車などのガソリン代、維持費なども含みます。
生活費						
食費					000 円	自宅通学者・・・外食した時の経費のみ。 自宅外通学者・・・外食、自炊の費用、食事付きの寮等で食費として支払う額の合計。 ※間食、酒などの嗜好品は「娯楽・嗜好費」に回答
住居・光熱費					000 円	自宅通学者・・・「0」と回答してください。 自宅外通学者・・・家賃（管理費、共益費など含む）、光熱水費、暖房費などの合計額。食事付きの寮等で食費を含めて支払っている場合は、食費を除き、住居・光熱費のみを算定して回答してください。
保健衛生費					000 円	診療代・薬代・理容美容代・化粧品代・銭湯代など。

娯楽・し好費						000 円	趣味、旅行、レクリエーションなどの費用および酒、タバコ、間食代など。
通信費						000 円	携帯電話、固定電話、インターネットの利用料金など。
その他の日常費						000 円	衣服代、帰省のための交通費、社会保険料（年金等）など、上記に含まれない日常的な経費すべて。
預貯金						000 円	1年間で貯蓄した額。残高ではありません。
年間支出合計 (イ)						000 円	上記の金額を合計してください。

年間収入合計（ア） = 年間支出合計（イ）になるよう、金額を確認してください。

☞ 下書き③ 質問（16）あなたの家庭の最近1年間（12か月）の所得総額（税込額）について

この項目は、学生支援策の検討において重要な情報として使用されています。家族によく確かめたくうえで、できるだけ正確に回答してください。

家庭の所得の総額を、ア) 主な家計支持者とイ) その他の家族の方に分けて、それぞれ回答してください。ただし、学校に在学する方が得た所得は除いてください。なお、あなたが結婚などにより独立した家庭を築いている場合は、その独立した家庭の所得総額を、あなたの所得も含めて、回答してください。

※1万円未満は四捨五入、所得がない場合は「0」と回答してください。

ア) 主な家計支持者

億	千万	百万	十万	万

万円

イ) その他の方

億	千万	百万	十万	万

万円

<家庭の所得に含めるもの> 以下の所得のうち該当するものを全てを合計してください。

- 事業所得：個人が経営する農業・漁業・製造業・卸売業・小売業・サービス業などから生ずる所得で、その年の総収入から事業経営に必要な経費を控除した額です。（農業、小売業などで生産品または商品を自家消費した場合は、時価に換算した見積額を所得に加算してください。）
- 給与所得：俸給、給料、賃金、歳費、賞与など、労務または役務の対価として受けた所得です。
- 資産所得：利子所得、配当所得、不動産所得など、資産から生ずる所得です。
- その他の所得：恩給、年金、家庭の内職収入および世帯員以外の者からの経済的援助などの合計額です。（退職金、財産売却、相続などのため、臨時的に得た収入および借入金を含めないでください。新型コロナウイルス関連で臨時的に得た給付金や助成金等も、含めないでください。）

令和4年度
学生生活調査・高等専門学校生生活調査
専門学校生生活調査 実施の手引
(学校事務担当者用)

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、全国の学生を対象として、学生生活状況を把握することにより、学生生活支援事業の充実のための基礎資料を得ることを目的としています（隔年調査）。

2 調査の対象

学生生活調査：大学学部、短期大学及び大学院の学生

高等専門学校生活調査：高等専門学校（第4、5学年）の学生

専門学校生活調査：専門学校（専修学校専門課程）の学生

※いずれの調査も社会人学生は対象とし、次の学生は対象外とします。

- ・休学者及び外国人留学生
- ・通信制課程、専攻科、別科に在籍する学生
- ・科目履修生、聴講生、研究生



この調査は、奨学金事業に関する調査ではありません。
奨学金受給の有無にかかわらず、調査の対象としてください。

3 調査の実施方法

オンライン調査（今回より。2ページ「II オンライン調査について」参照。）

4 調査実施期間

令和4年11月1日（火）～令和4年12月16日（金）

5 調査数

貴校の調査数は、別紙「調査依頼数及び送付内訳」でお知らせしています。オンライン調査システムからも、調査数を確認することができます（6ページ「V オンライン調査システム」参照）。調査数は、学校種及び設置者別の学生数から、次の抽出率に基づき算出しています。なお、調査のオンライン化に伴い、回答数確保の観点から、前回（令和2年度）調査より規模を拡大しておりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

		国立	公立	私立
大学学部	昼間部	3/76	3/28	1/66
	夜間部	55/74	(全数調査)	23/71
短期大学	昼間部		41/48	3/44
	夜間部		(全数調査)	(全数調査)
大学院	修士課程	3/37	25/51	7/52
	博士課程	3/14	7/8	22/47
	専門職学位課程	37/60	(全数調査)	32/53
高等専門学校		8/39	(全数調査)	(全数調査)
専門学校			5/24	1/44

注1) 大学学部（昼間部）、専門学校については、層化多段抽出により調査数を算出しているため、在籍学生数と調査数が完全には比例しません。また、在籍学生数の少ない一部の学校は、一定の確率で調査依頼から外れています。

注2) 母集団である全国の学生数が少ないことから、全数調査とした区分があります。

II オンライン調査について

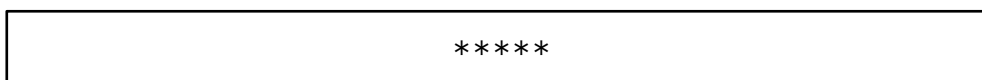
学生の情報通信環境の充実を踏まえ、回答に係る負担軽減や回答データの質の確保等を目的として、前回までの紙面による調査から、オンラインによる調査に実施方法を変更しました。

1 オンライン調査システム

オンライン調査システムは、学校担当者用システムと回答者用ページで構成されています。画面構成などは、本手引 6 ページ「V オンライン調査システム」をご覧ください。

2 学校担当者用システム

学校担当者の方が、回答者用ページの URL と調査内容、「調査案内」（調査対象者への配付物）、調査依頼数や回答済の学生数などを確認できるページです。ログインには、別紙「調査依頼数及び送付内訳」に記載された、学校コード（文部科学省付番）とパスワードが必要です。以下のページから、ログイン画面にアクセスしてください。



3 回答者用ページ

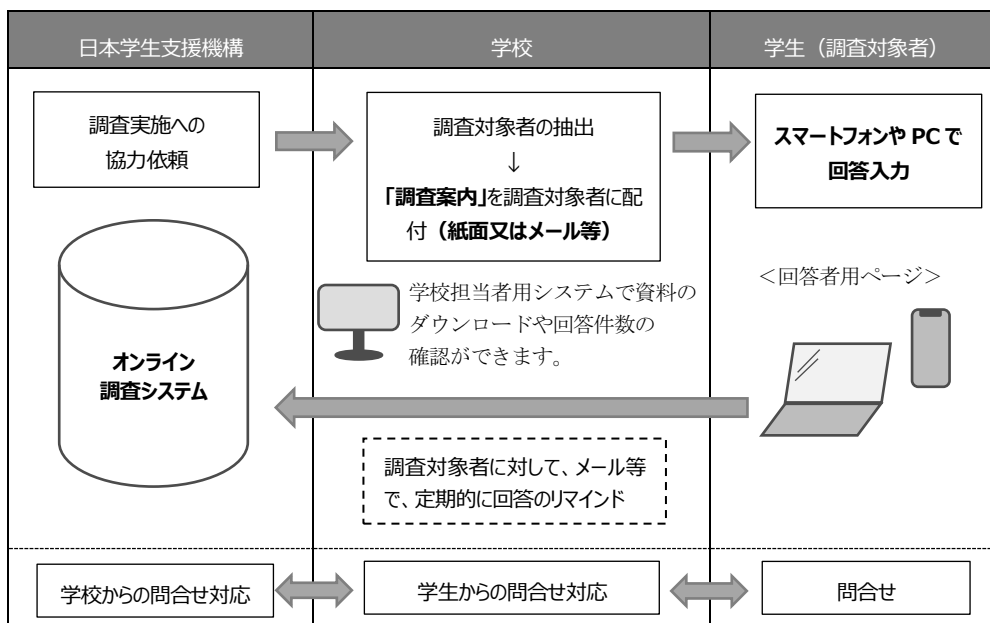
学生（調査対象者）がアンケート調査に回答するためのページです。学校別（大学院がある場合は、学部と大学院別）に URL を設定しています。なお、調査対象者には、個別の ID 及びパスワードは設定しておりません。

4 学生（調査対象者）への配付物「調査案内」

前回までは、調査票・調査票記入要領が封入された封筒を学生に配付していましたが、今回は、回答者用ページの URL・ が印字された「調査案内」を学生に配付してください。配付については、当機構から送付した「調査案内」（紙面）の配付、又は学校担当者用ページから「調査案内」（PDF）をダウンロードしてメールなどにより送付をお願いします。

（参考 1）調査実施の流れ

前回までは、学生（調査対象者）が回答した調査票の回収・提出をお願いしていましたが、今回は必要ありません。



(参考 2) 調査案内と回答者用ページ

学生（調査対象者）に配付する調査案内に印字された URL と、回答者用ページは次のように対応しています。

		調査案内	回答者用ページ
大学学部	昼間部	大学昼間部用（白色）	大学用
	夜間部	大学夜間部用（桃色）	
短期大学	昼間部	短期大学昼間部用（白色）	短期大学用
	夜間部	短期大学夜間部用（桃色）	
大学院	修士課程	大学院用（白色）	大学院用
	博士課程		
	専門職学位課程		
高等専門学校		高等専門学校用（白色）	高等専門学校用
専門学校		専門学校用（白色）	専門学校用

Ⅲ 調査開始まで（準備期間）

1 学生への周知

より多くの学生から回答が得られるよう、調査対象者を抽出する前に、この調査の実施及び趣旨について、学生に可能な限り周知を図ってください。

2 調査対象者の抽出

別紙「調査依頼数及び送付内訳」、及び学校担当者用システムでお知らせする調査数に基づき、次の方法により在籍する学生から調査対象者を抽出してください。

(1) 抽出用名簿の作成

- ①令和 4 年 5 月 1 日現在の在籍者から、調査対象者を抽出します（令和 4 年秋入学者は対象外です）。抽出用名簿は、次の学生を対象に作成してください。なお、この調査は、奨学金事業に関する調査ではありません。奨学金受給の有無にかかわらず調査の対象としてください。

学生生活調査：大学学部、短期大学及び大学院の学生
 高等専門学校学生生活調査：高等専門学校（第 4、5 学年）の学生
 専門学校学生生活調査：専門学校（専修学校専門課程）の学生
 ※いずれの調査も社会人学生は対象とし、次の学生は対象外とします。

- ・休学者及び外国人留学生
- ・通信制課程、専攻科、別科に在籍する学生
- ・科目履修生、聴講生、研究生

- ②大学及び短期大学については、昼間部、夜間部別、大学院については、修士課程、博士課程、専門職学位課程別に在籍者を分類してください。

(2) 調査数の配分

学部等について偏りが生じないよう、次の例のとおり、依頼された調査数を在籍者数に応じて比例配分してください。

例) 調査数が 340 人の大学で、文学部に 700 人、工学部に 1,300 人在籍している場合。

$$\text{文学部の調査数} = \frac{700 \text{ 人 (文学部の在籍学生数)}}{2,000 \text{ 人 (文学部と工学部の合計在籍学生数)}} \times 340 \text{ 人 (調査数)} = 119 \text{ 人}$$

→ 文学部 119 人、工学部 221 人 と配分してください。

(3) 調査対象者の抽出

上記 (1)の抽出用名簿、(2)で配分した調査数に基づき、次のとおり調査対象となる学生を抽出してください。

①抽出の手順

手順 i) 抽出間隔を、「学生数 / 調査数 (小数点以下切り捨て)」により、算出してください。

手順 ii) 抽出の起点となる学生(A)を、抽出用名簿の先頭～手順 i) で求めた抽出間隔の間で、無作為に選んでください。

手順 iii) 学生(A)を起点に、調査依頼数分の学生が抽出されるまで、手順 i) で求めた抽出間隔ごとに学生を抽出してください。(Aを含めて)抽出された学生が調査対象者です。

抽出例) 調査数が 119 人、学生が 700 人在籍している場合。

学籍番号	通し番号	
ABC0001	1	「700 (学生数) / 119 (調査数) = 5 (小数点以下切り捨て)」…手順 i
ABC0002	2	
ABC0003	3	←調査対象 (抽出の起点(学生(A))を、1～5 の間で無作為に選定) …手順 ii
ABC0004	4	
ABC0005	5	←調査対象 (抽出の起点(番号 4)+抽出間隔 5) …手順 iii
ABC0006	6	
ABC0007	7	←調査対象 (抽出の起点(番号 4)+抽出間隔 5+抽出間隔 5)
ABC0008	8	
ABC0009	9	調査依頼数分の学生が抽出されるまで、手順 iii を繰り返す。
ABC0010	10	
ABC0011	11	.
ABC0012	12	
ABC0013	13	.
ABC0014	14	
ABC0015	15	.
.	.	
.	.	
.	.	

※手順 i) で抽出間隔が「1」となった場合は、半数以上の学生が調査対象ですので、調査対象とならない学生を無作為抽出し、抽出されなかった学生を調査対象とする方法をとってください。調査対象とならない学生は、抽出間隔を「学生数 / (学生数-調査数) (小数点以下切り捨て)」により算出し、手順 ii、iiiと同様に抽出してください。

※学校担当者用システムに、「調査対象者の抽出」(Excel) を用意しています。学生数と調査数を入力すると、抽出の起点となる番号と抽出間隔が算出されますので、適宜ご利用ください。

②抽出上の注意点

- ・抽出は必ず「①抽出の手順」の方法で行ない、日本学生支援機構の奨学金受給者のみを対象とするなど、作爲的に抽出しないでください。
- ・抽出により決定した調査対象者は、変更しないでください。抽出された学生が調査を拒否した場合や、本年5月1日現在では在籍していたものの、その後に休退学した学生が対象となった場合も、新たな調査対象者の抽出は不要です。
- ・上記の抽出方法で抽出した結果が、貴校内では偏りがあると思われる学生が抽出されていたとしても（自宅から通学する学生が多かった場合など）、調査全体としては確率的に調整されるので、抽出結果の修正は不要です。

3 調査の実施

(1) 調査案内の配付

11月1日以降すみやかに、調査対象者へ「調査案内」を配付してください。①当機構から送付した紙面の配付、②学校担当者用システムからダウンロードしたPDFの送信、③紙面の配付とPDFの送信の併用ができますが、依頼の訴求力を高める観点や、学生が調査に滞りなく回答できるよう収入支出額などの下書き欄を設けていますので、可能な限り紙面を配付くださいますようお願いいたします。なお、大学学部、短期大学の「調査案内」には、昼間部・夜間部の別も記載しています（調査案内は、昼間部用を白色、夜間部用を桃色に色分けしています）。



回答者用ページの URL・ は学校ごとに異なります。
調査対象者のみに配付し、その他の学生が閲覧できる Web サイト（学内サイトも含む）などには掲載しないでください。

(2) 以下のとおり、調査対象者への指導にご協力をお願いいたします。

- この調査は匿名で実施しているため、調査の回答から個人が特定されることはなく、プライバシーは確実に保護される旨、調査対象者にお伝えください。
- 回答者用ページの URL・ を、SNSなどで拡散しないようご指導ください。
- 「授業料」や「その他の学校納付金」等、各学校で金額が決まっているものは、一覧表等でその額を調査対象者に示すなど、誤回答が生じないようご指導ください。
- 「年間収入合計（ア）」と「年間支出合計（イ）」の金額が、同じになるようご指導ください。
- 「家庭の年間所得総額」について、よく家族に確認したうえで回答するようご指導ください。

IV 調査実施期間～調査期間終了後

1 再周知

より多くの学生から回答が得られるよう、調査の実施期間中、3～5 回程度の督促（再周知）をお願いします。

督促（再周知）の実施例

11月1日（火）以降 調査の依頼。

11月18日（金）調査を依頼していることを再周知。家庭の年間収入額などが調査項目となっているため、早めに準備して回答することを周知。

12月2日（金）回答期限まで2週間であることを周知。

12月9日（金）回答期限まで1週間であることを周知。

12月15日（木）明日が回答期限であることを周知。

※上記を参考に、貴校の状況に応じて再周知をお願いします。

※調査期間終了後、前回と比べて回収率が低い学校などに再度の督促をお願いする場合がありますので、ご協力の程よろしくお願いたします。回答状況によっては、督促期間として回答者用ページを最長で令和5年1月31日（火）まで公開する予定です。

2 問い合わせ

(1) 学校からの問い合わせ

オンライン調査に関するお問い合わせについては、本手引 8 ページ「VI オンライン調査に関する Q&A」に記載しています。また、過去にいただいたよくあるご質問は、学校担当者用システムの「Q & A」に掲載しておりますのでご確認ください。その他、不明な点等ございましたら下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部学生支援企画課学生支援調査係

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1

電話：03-5520-6169 E-mail：g-chousa@jasso.go.jp（組織メール）

(2) 学生からの問い合わせ

誠に恐れ入りますが、学生からの質問は貴校でとりまとめいただき、学校ご担当者から当機構にお問い合わせください（学生からの直接の問い合わせは、受け付けておりません）。なお、学生に配付する「調査案内」、回答者用ページの注記や回答要領（回答者用ページからリンク）で、詳細に回答方法を説明しています。まずは、それらをよく確認することを学生にご指導いただきますよう、よろしくお願いたします。

V オンライン調査システム

※実際に表示される画面のレイアウトは異なることがあります。

1 学校担当者用システム

(1) PC 推奨ブラウザ

Windows：Microsoft Edge 最新版、Google Chrome 最新版

Mac：Safari 最新版

(2) 利用方法

①ログイン画面

ユーザーID は、貴校の学校コード（文部科学省付番）です。

パスワードは、別紙「調査依頼数及び送付内訳」に記載しています。

※複数のユーザーが同時に接続できます。

②トップページ

当機構より、調査に関連するお知らせをする場合がありますので、ご確認ください。

貴校の学生（調査対象者）がアクセスする、回答者用ページのURLです。学校ごとにURLが異なります。

調査内容（回答者用ページのサンプル）は、こちらのリンクから確認できます。学生が利用する回答者用ページにはアクセスしないでください。

③調査案内等ダウンロード

次のファイルをダウンロードすることができます。
「実施の手引」(PDF)・・・本紙
「Q&A」(PDF)
「調査対象者の抽出」(Excel)

学生（調査対象者）に配付する「調査案内」のPDFをダウンロードすることができます。

④調査依頼・回答状況

貴校の調査依頼数と回答状況が、確認できます。

2 回答者用ページ

(1) 推奨環境

PC 推奨ブラウザ：Windows：Microsoft Edge 最新版、Google Chrome 最新版

Mac：Safari 最新版

スマートフォン推奨ブラウザ：iPhone：Safari 最新版

Android：Google Chrome 最新版

(2) 回答画面

学校担当者用システムのトップページのリンクから、回答者用ページのサンプルが確認できます。こちらで調査内容をご確認いただけます。誤回答防止等のため、学生が利用する回答者用ページにはアクセスしないようにしてください。なお、調査内容と回答要領は、「Q&A」(PDF)の巻末にも掲載しています。

※調査内容は、前回（令和2年度）調査から変更はありません（調査のオンライン化に伴い、文言の一部に変更があります）。

VI オンライン調査に関する Q&A

オンライン調査に関するお問い合わせについて記載しておりますので、ご参照ください。

1 学校担当者用システム

Q1.学校担当者用システムの ID、パスワードが分からなくなりました。

ID は貴校の学校コード（文部科学省付番）です。パスワードが分からなくなった場合は、当機構にお問い合わせいただければ、再度お知らせします。

Q2.学校担当者用システムのパスワードは、学内で共有しても良いですか。

共有は差し支えありません。また、複数の方が同時にログインすることもできます。

Q3.学校担当者用システムが表示されません。

しばらく時間を置いてから、再度アクセスをお試しください。

Q4.学校担当者用システムに表示されている回答状況はいつ時点のデータになりますか。

回答データは、概ねリアルタイムで確認できます（回答の混雑などにより、システムへの反映が遅れる場合があります）。

Q5.他の学校の回答状況は閲覧できますか。

学校担当者用システムで閲覧できる回答状況は自校のみとなり、他校の回答状況は閲覧することができません。

Q6.学校担当者用システム上でいつまで回答状況が閲覧できますか。

回答状況の閲覧は、令和5年1月31日（火）までを予定しています。

2 回答者用ページ

Q1.学生から調査の回答ができないと問合せを受けました。

回答ができない場合について、以下が想定されます。

1.回答可能期間外に調査回答ページにアクセスした場合

調査の実施期間は、令和4年11月1日（火）から令和4年12月16日（金）です。調査の実施期間外である場合は、その旨の表示がされていますので、実施期間内での回答をご案内ください。

2.アクセスが集中するなど通信環境による場合

アクセスが集中している場合、“ページを表示できません”等のエラーメッセージが表示される場合があります。しばらく時間を置いてから再度アクセスする、場所を変えてアクセスすることをご案内ください。

3.学生の環境による場合

スマートフォン、PCの環境による場合がありますので、調査案内などでお知らせしている推奨環境でアクセスすることをご案内ください。

Q2.学生から回答内容を修正したいと問合せを受けました。

一度送信した回答内容は、修正することはできません。

Q3.学生の回答画面を確認したいのですが、学生に配付する「調査案内」に掲載されているURLや から確認して良いですか。

調査対象者（学生）以外の方は、誤回答防止等のため、調査案内に掲載されているURL及び から回答者用ページにアクセスしないでください。学校担当者が回答画面を確認したい場合は、学校担当者用システムの専用リンクから確認してください。

Q4.調査開始日から回答できるよう調査を依頼しなければならないですか。

調査期間は、令和4年11月1日（火）から令和4年12月16日（金）となっているため、期間内であれば必ずしも11月1日（火）に依頼する必要はありませんが、調査期間内に学生が回答できるよう、早めに調査を依頼してください。

Q5.調査（回答）期間は延長できますか。

令和4年12月16日（金）の時点で回答状況を取りまとめますので、学生には調査期間内に回答するようご指導願います。なお、回答状況によっては、督促期間として回答者用ページを最長で令和5年1月31日（火）まで公開する予定です。

Q6.二重回答などの不正対策はあるのでしょうか。

二重回答の防止については、同一の端末からの二重回答を排除する対応をとっています。

3 個人情報について

Q1.学生から個人情報の取扱いについて問合せを受けました。

本調査では、インターネットドメイン名、IPアドレスその他当該サイト閲覧に係る情報を自動的に取得するほか、回答者のユーザビリティ向上のため、クッキー（サーバ側で利用者を識別するために、サーバから利用者のブラウザに送信され、利用者のコンピュータに蓄積させる情報）を利用します。これらに、個人を特定できる情報は含まれません。また、本調査は匿名による回答のため、当機構（及び受託業者）、貴校のいずれにおいても個人の特定はできません。

Q2.個人が特定される恐れから、1年間の収入・支出額や家庭の所得総額などの回答を拒否している学生がいますが、どうすればよいですか。

本調査は匿名による回答のため、個人が特定されることは無い旨を説明してください。それでも回答を拒否する場合は、無理に回答を促す必要はありませんので、可能な範囲で回答するようご指導ください。

「令和4年度学生生活調査実施検討委員会」委員（50音順、◎委員長）

沖 清豪 早稲田大学 文学学術院 教授（大学院文学研究科長）

◎加藤 泰建 埼玉大学 名誉教授（元 埼玉大学理事・副学長）

小林 雅之 桜美林大学 教育探究科学群長・教授

濱中 義隆 国立教育政策研究所 高等教育研究部長

保田 時男 関西大学 社会学部 教授

（令和6年3月31日現在）

令和4年度 専門学校生生活調査結果

令和6年（2024年）3月 発行

独立行政法人 日本学生支援機構
学生生活部 学生支援企画課 学生支援調査係
〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1
TEL 03-5520-6169
URL <https://www.jasso.go.jp/>

